

一般国道 57 号
中九州横断道路
千 歳 大 野 道 路

平成 17 年 10 月 24 日

国土交通省九州地方整備局

目 次

1 . 千歳大野道路の概要	3
2 . 事業の効果及び必要性	6
事業を巡る社会情勢等の変化	6
事業の投資効果（費用便益効果分析）	22
事業の進捗状況	25
3 . 事業の進捗の見込み	26
4 . コスト縮減や代替案立案等の可能性	28
5 . 対応方針（原案）	29

1. 千歳大野道路の概要

(1) 中九州横断道路の概要

中九州横断道路は平成6年12月に計画路線に指定された地域高規格道路で、大分市を起点として竹田市等を経由し熊本市に至る延長約120kmの自動車専用道路である。

本道路は、大分市、熊本市を中心としたそれぞれの都市圏を相互に連絡し、両県の交流を促進するとともに、沿線地域の産業発展、地域活性化に寄与することを目的とした道路である。

また、九州縦貫自動車道及び東九州自動車道と連絡されることにより、循環型ネットワークが形成され、さまざまな地域圏との交流が可能となる。



位置図

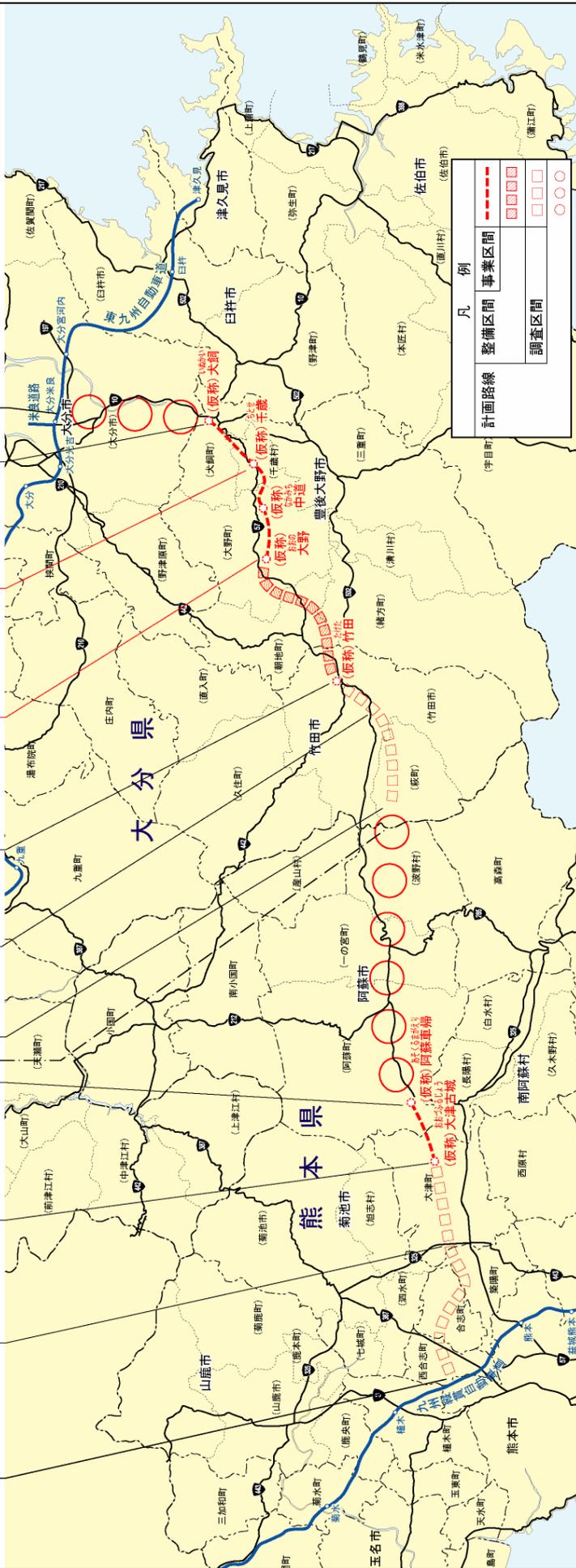
中九州横断道路 約120km

熊本県 L=約60km

大津～熊本 L=約14km 調査区間(H12)	菊池郡大津町
大津～大津 L=約7km 調査区間(H8)	菊池郡大津町大字古城
阿蘇大津道路 L=5.3km 整備区間(H9) (事業化：H12)	阿蘇市阿蘇町車帰

大分県 L=約60km

竹田～荻 L=約8km 調査区間(H12)	竹田市荻町
竹田～竹田 L=約7km 調査区間(H7)	竹田市
大野竹田道路 L=約12km 整備区間(H11) (アセス中)	竹田市
千歳大野道路 L=8.7km 整備区間(H7) (事業化：H8)	豊後大野市大野町田中
犬飼千歳道路 L=4.3km 整備区間(H7) (事業化：H7)	豊後大野市犬飼町下津尾



()内は合併前の市町村名

中九州横断道路路線図

(2) 千歳大野道路の概要

1) 概要

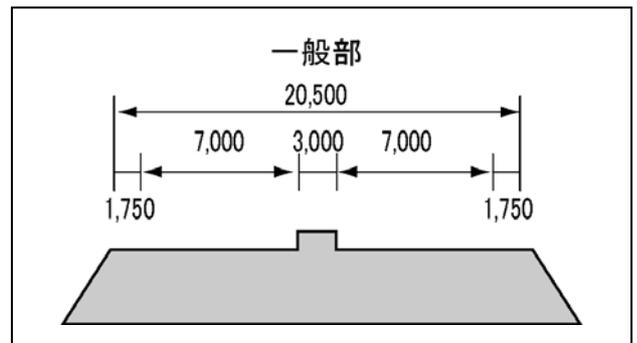
千歳大野道路は、中九州横断道路を構成する一区間であり、大分県南部の一般国道57号と平行に位置し、交通利便性の向上、地域間の連携・交流の支援を図り、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、当該道路と平行する一般国道57号の代替機能も有する。

2) 道路諸元と横断面構成

道路諸元

路線名	千歳大野道路
起点	大分県豊後大野市千歳町下山
終点	大分県豊後大野市大野町田中
延長	L= 8.7 km
幅員	W= 20.5 m
車線数	4車線
構造規格	第1種3級
設計速度	V= 80 km/h

標準横断面図



千歳大野道路の位置

2. 事業の効果及び必要性

事業をめぐる社会情勢等の変化

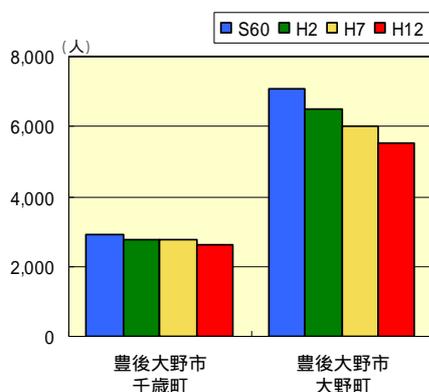
(1) 対象地域の概況

a. 人口の推移

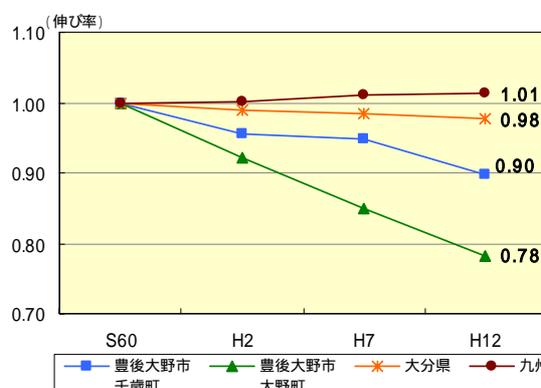
千歳大野道路沿線の豊後大野市千歳町及び大野町はともに人口は減少しており、特に大野町では昭和60年から平成12年にかけて約2割減少している。

また、高齢化率は千歳町、大野町ともに県平均に比べ高く、大野町では約4割が65歳以上を占めるなど、高齢化の進展が著しい。

～ 人口 ～



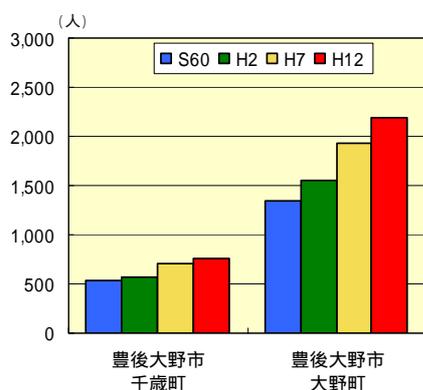
沿線地域の人口の推移



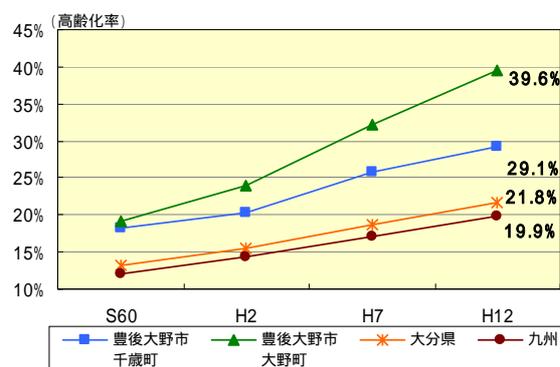
沿線地域の人口の伸び率 (対S60)

(資料: 国勢調査)

～ 高齢者 ～



沿線地域の高齢者人口の推移



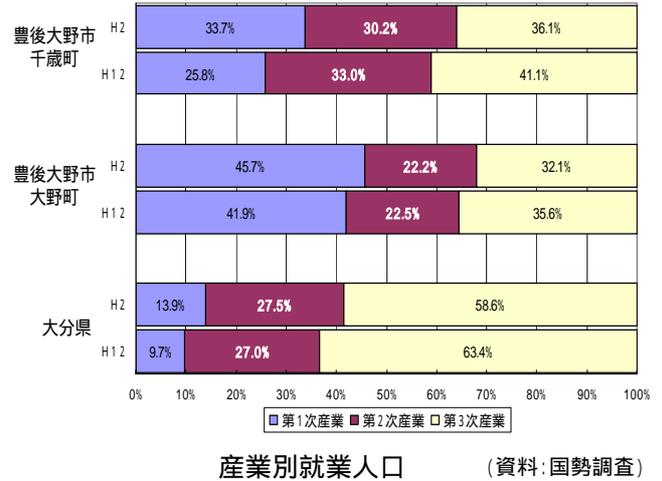
沿線地域の高齢化率の推移 (対S60)

(資料: 国勢調査)

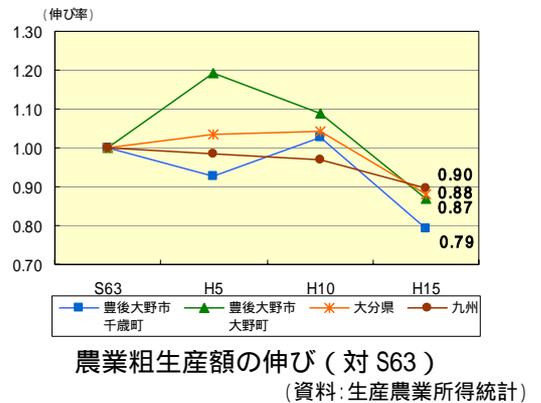
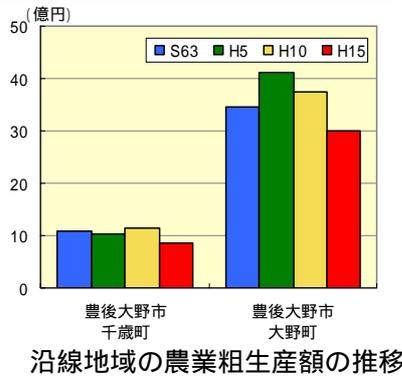
b. 産業

沿線地域の豊後大野市千歳町及び大野町とも、第1次産業就業者の構成比が大分県平均を大きく上回っており、地域の基幹産業となっている。

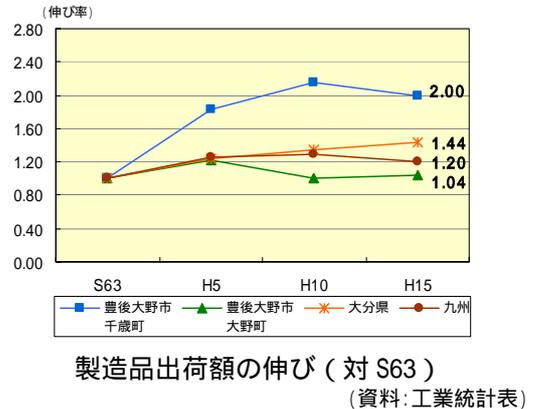
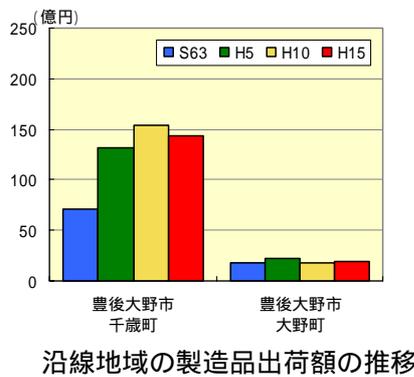
また、千歳町の製造品出荷額の伸びが大分県平均を上回っているが、基幹産業である農業の粗生産額は減少している。



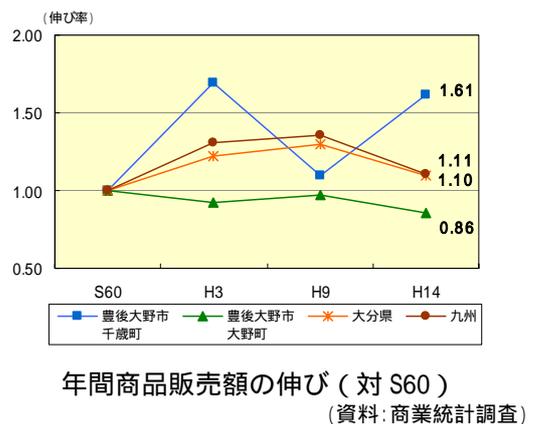
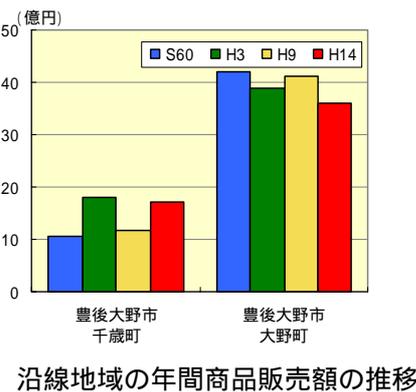
～ 農業 ～



～ 工業 ～

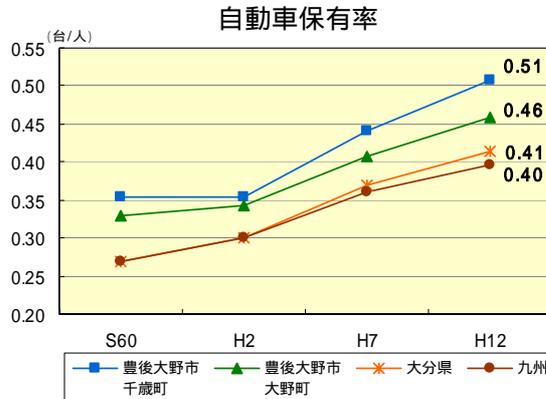


～ 商業 ～



c. 自動車保有台数

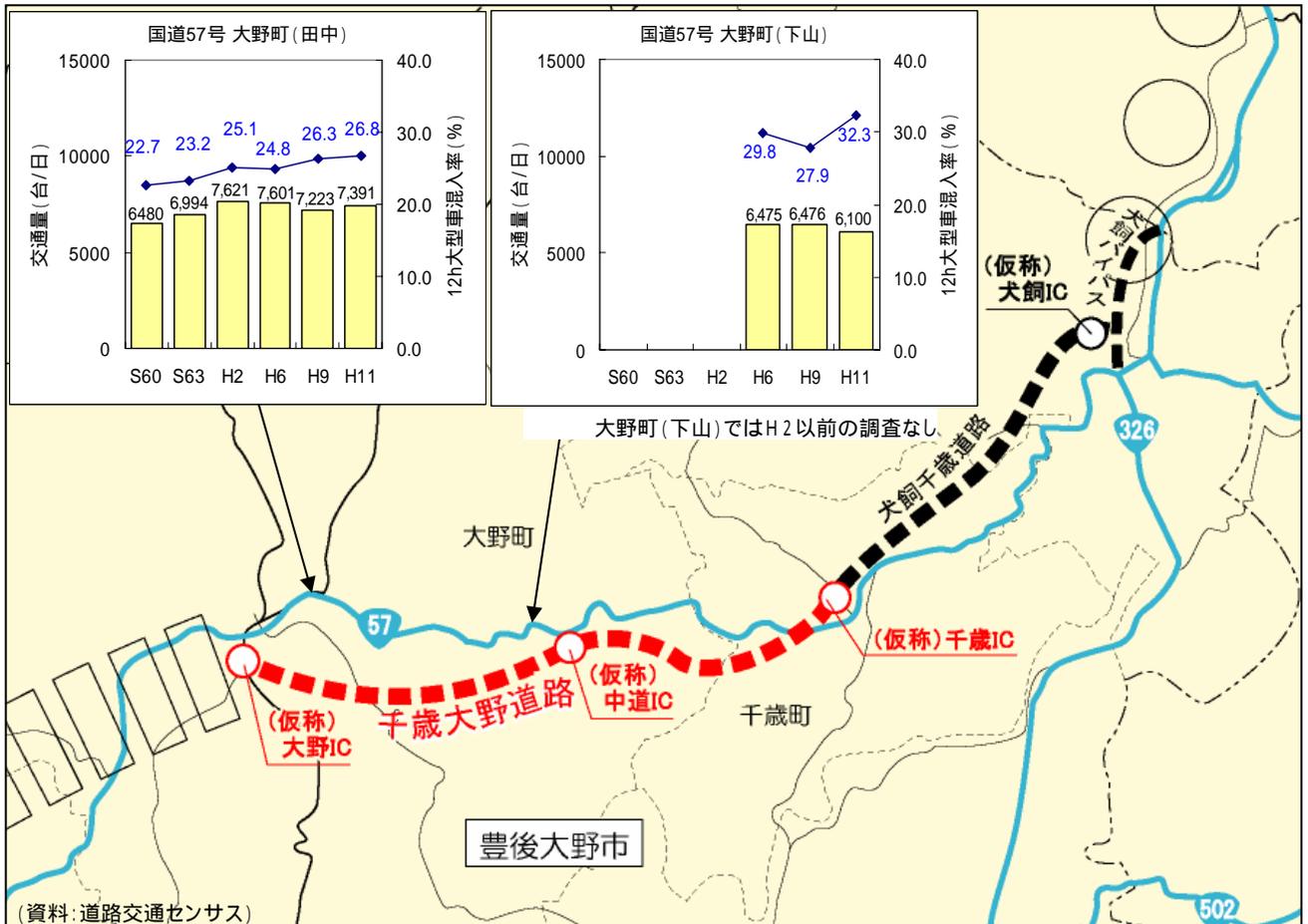
自動車保有率は県平均と同様に増加傾向にあり、豊後大野市千歳町や大野町はともに自動車保有率が県平均を上回っており、自動車への依存は高い状況にある。



(資料:九州各県市町村別・車種別保有車輛数統計資料)

d. 交通量の推移

沿線地域の幹線道路である国道 57 号の交通量は、豊後大野市大野町(田中)で約 7,400 台/日と昭和 60 年から平成 11 年にかけて約 14%増加している。また、12h 大型車混入率も増加傾向にあり、大野町(下山)では平成 11 年で 30%を越えている。



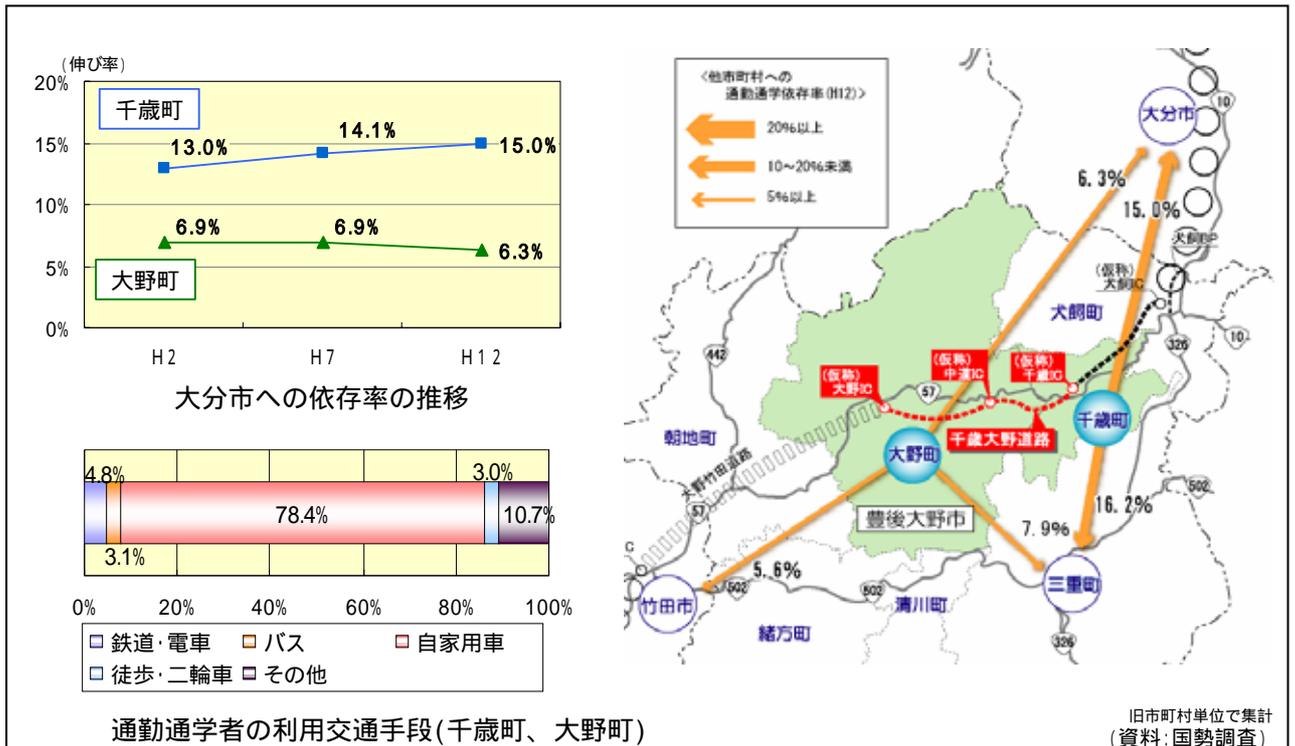
一般国道 57 号の交通概況

e. 流動状況

通勤通学流動

大分市への通勤通学依存率は、豊後大野市千歳町で約15%と高く増加傾向にあり、同市大野町においても大分市へ約6%依存している。

また、通勤・通学者の交通手段は、自家用車が約8割を占めており、自動車交通に依存していることが伺える。



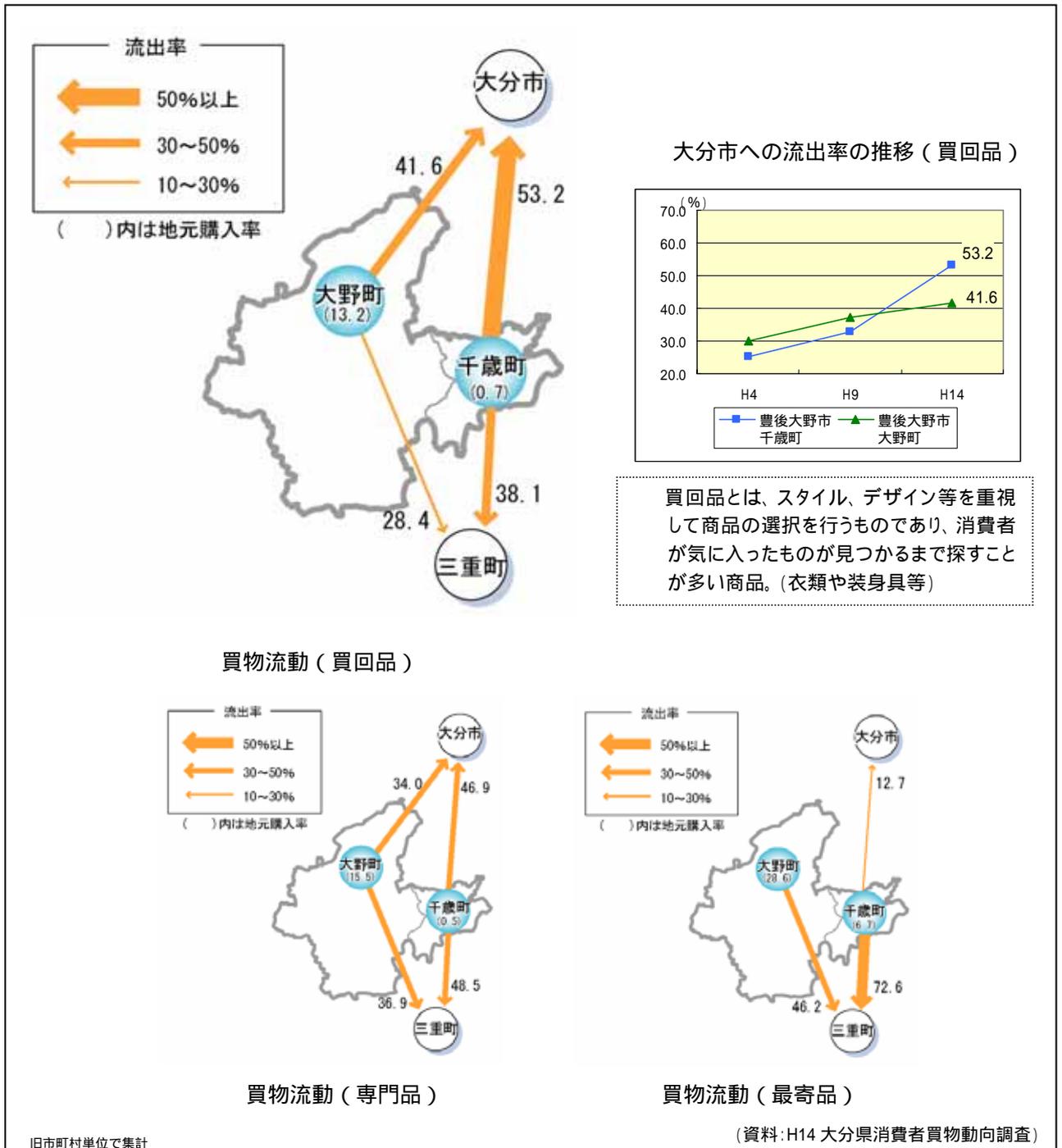
沿線地域の通勤通学流動



大分市への通勤通学依存圏

買物流動

沿線地域の豊後大野市千歳町及び大野町では、大分市や豊後大野市三重町に買物場所を依存しており、特に買回品や専門品等は、約半数近くが商業施設の集積する大分市へ流出し、その依存傾向は年々高まっている。



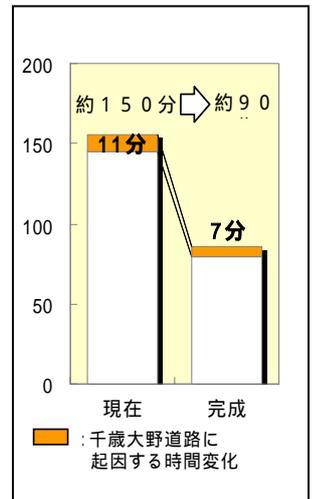
(2) 事業の必要性及び効果

効果1：地域間の交流連携の支援

中九州横断道路が大分～熊本まで供用されれば、国道57号等を利用し、現在約150分かかっている大分～熊本間が、中九州横断道路を利用することにより、約90分に短縮される。(千歳大野道路区間は11分から7分に短縮)

これにより、県都である大分市や東九州自動車道までの時間距離が短縮され、産業・経済の発展、観光の振興に寄与するとともに、最寄りICまで30分圏が拡大し、行動圏域の拡大が図られる。

千歳大野道路は中九州横断道路の一部区間を形成し、地域間の交流連携を支援する。

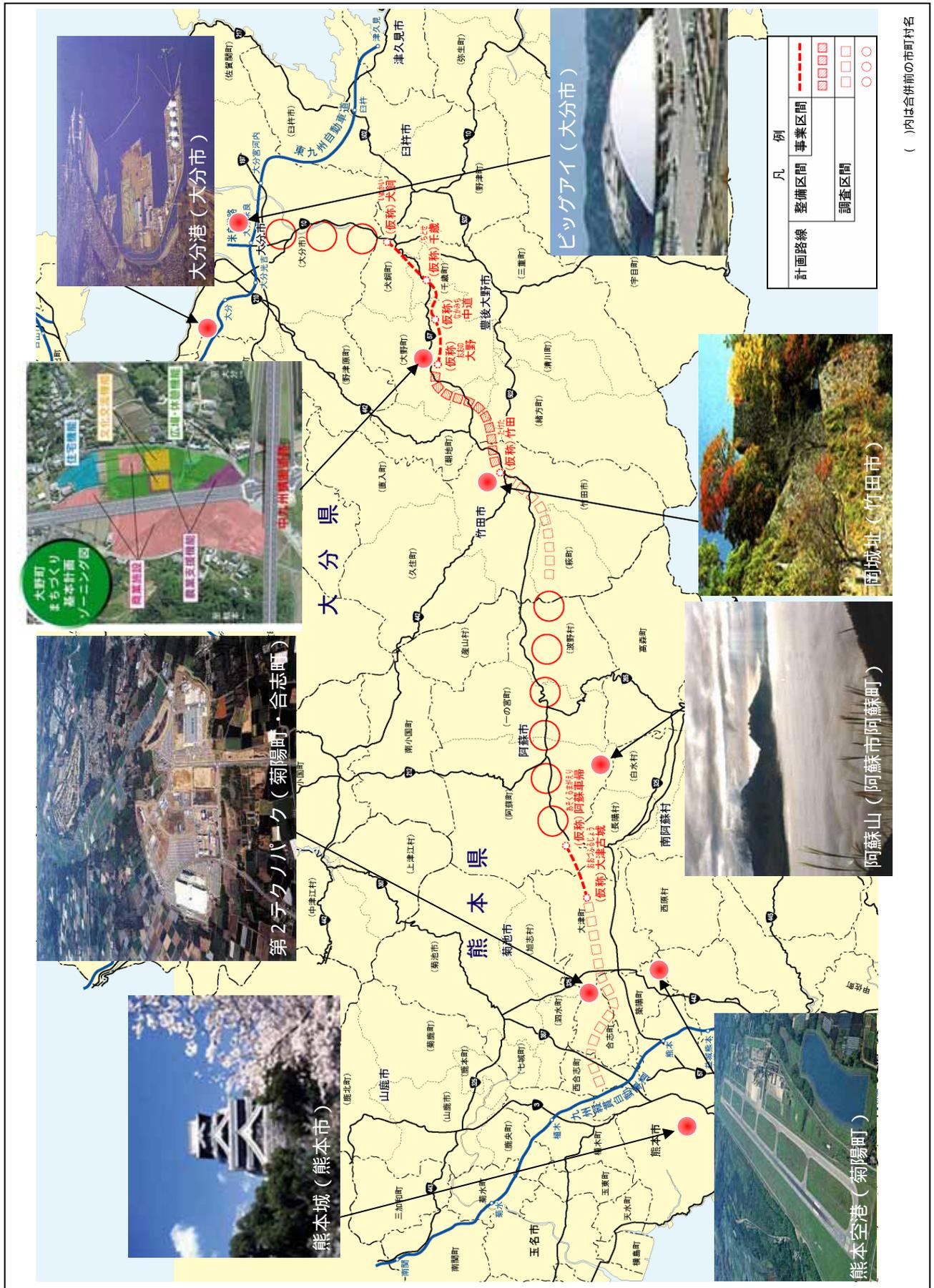


中九州横断道路の整備による時間短縮 (全線供用時)

大分～熊本間の所要時間



IC30分圏の拡大 (全線供用時)

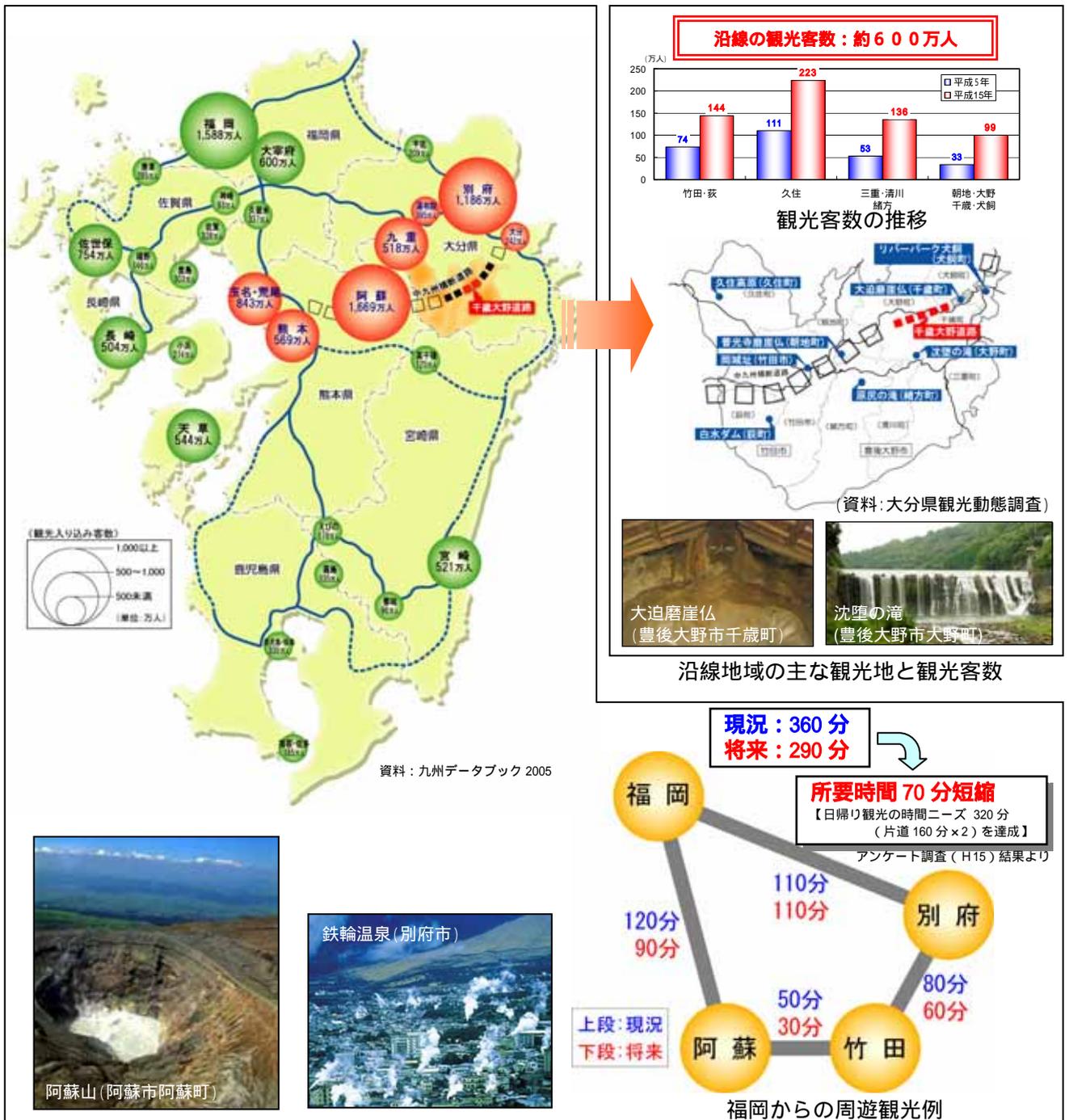


中九州横断道路沿線の主要施設及びプロジェクト

効果2：観光ネットワークの強化

中九州横断道路が整備されることで、阿蘇、別府等の九州を代表する観光地間のネットワークが強化される。千歳大野道路は、その一部区間を形成し広域観光ネットワークの強化に寄与する。

また、千歳大野道路沿線地域においても、大分市などの主要都市からのアクセス向上や、阿蘇等の主要観光地とのネットワーク強化が図られるなど、地域の観光振興に寄与する。



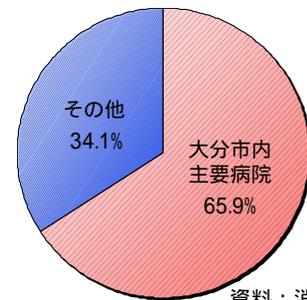
主要観光地の観光客数 (H14)

効果3：医療活動の支援

救急医療活動の支援

医療サービス水準が低い大野郡東部消防本部管内では、救急医療の約5割が管外に搬送されるなど、医療サービスを大分市に依存している状況にあり、豊後大野市大野町から大分市の第三次救急医療施設までは、カーブが多い国道57号を經由して約50分かかっている状況にある。

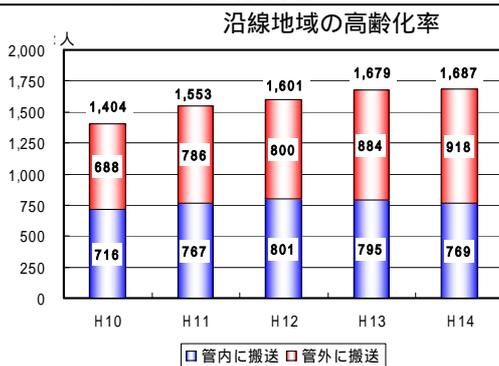
千歳大野道路の整備により、走行性の向上や搬送時間の短縮が図られ、高齢化率が高く、地域医療に深刻な問題を抱えている沿線地域において、安心できる暮らしの実現に貢献する。



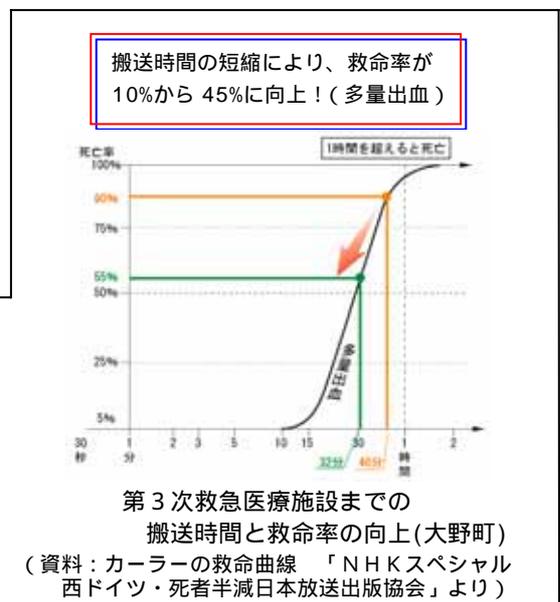
資料：消防署データ
H14.12(1ヶ月)
大野郡東部消防本部管内からの
管外搬送先病院



平成13年度高齢者(65歳以上)の搬送割合



大野郡東部消防本部の救急搬送人員の推移
大野郡東部消防本部の管轄(旧市町村区分)
野津町、三重町、清川村、大野町、千歳村、犬飼町

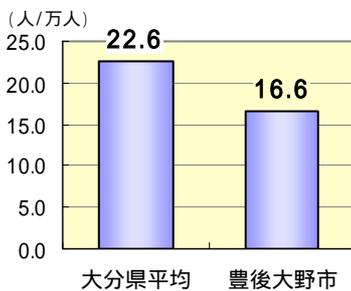


日常医療の支援

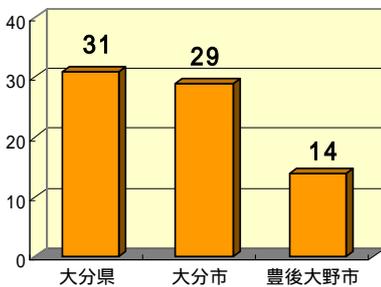
豊後大野市では、人口当りの医師数が少なく、また専門の診療科目数も少ないなど、大分県内において医療サービス水準が低い状況にある。（特に千歳大野道路沿線地域の千歳町、大野町などでは医師数が1~2人程度）

千歳大野道路の整備により、大分市内の医療施設までの所要時間が短縮することで、医療施設への選択肢が増加し、より高度かつ多様な医療サービスが受けられるなど、地域の医療サービス水準の向上に寄与する。

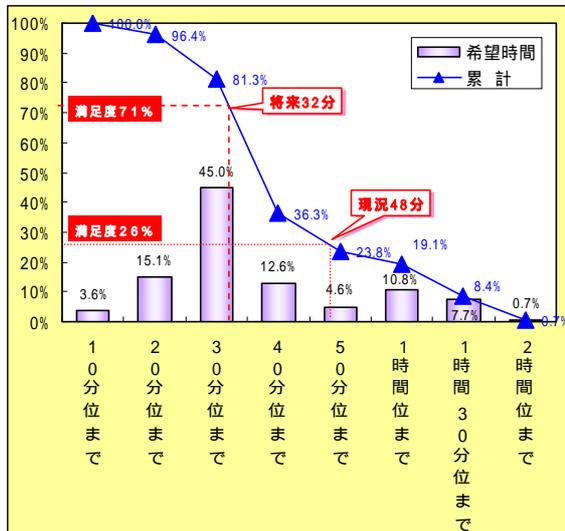
豊後大野市の人口1万人当りの医師数



大分市と豊後大野市の専門診療科目数



(資料：国勢調査、H14 大分県公衆衛生年鑑)



(資料：H15 住民アンケート調査)

高次医療施設までの時間サービスの満足度 (大野町)
道路 - 3 - 15

現況
所要時間：48分
満足度：26%

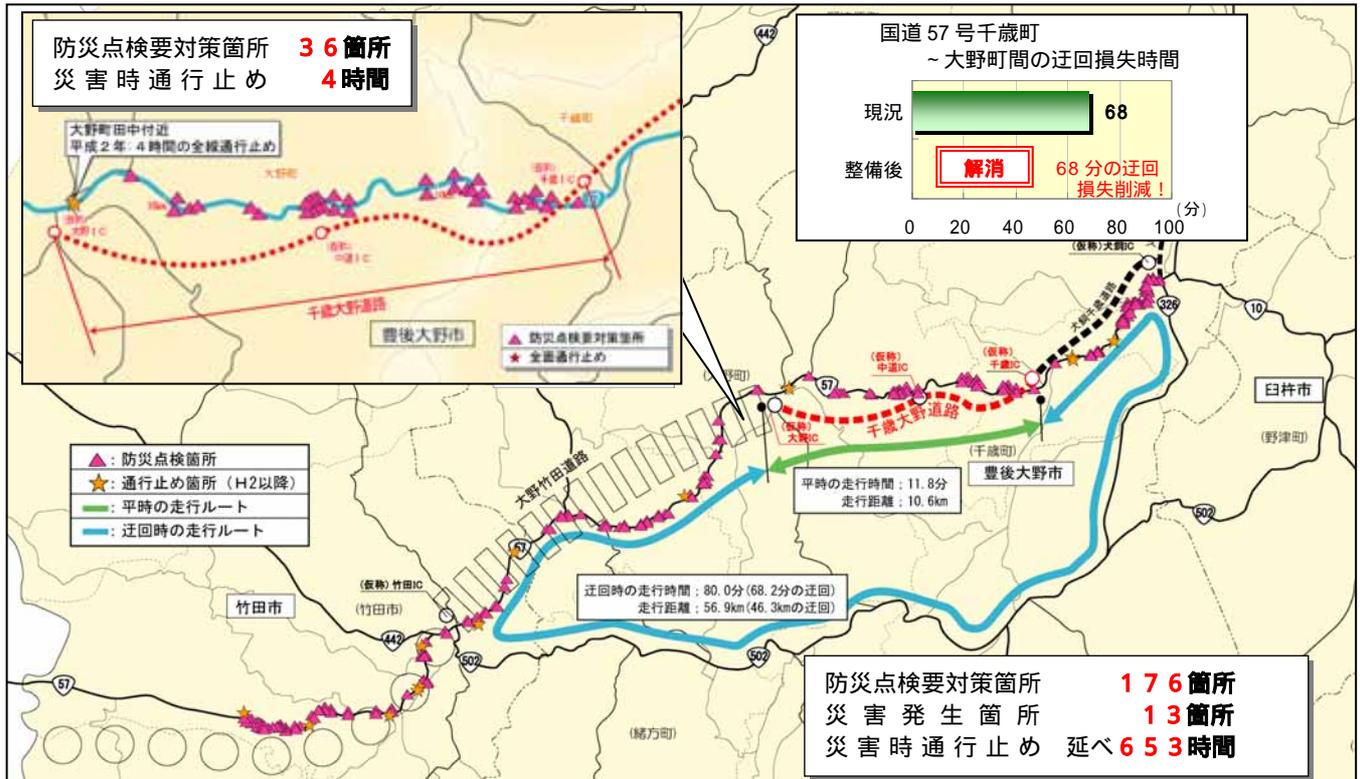
将来
所要時間：32分
満足度：71%

満足度が
3倍向上

効果5：防災機能の向上

国道57号は、大野・竹田直入地域と大分市を結ぶ幹線道路であるが、急峻な地形上を通過するため防災点検要対策箇所も多く、平成2年以降13箇所で延べ653時間の通行止めが発生するなど災害に脆弱な道路となっている。(千歳大野道路並行区間では、平成2年には豊後大野市大野町田中で4時間の通行止めが発生)

千歳大野道路が整備されることで、災害時に発生する約70分の迂回損失が解消されるなど、災害に強い道路ネットワークが形成され、地域の防災性の向上に寄与する。



国道57号の通行止め箇所、防災点検要対策箇所

国道57号の通行止め時の状況



国道57号の防災点検要対策箇所の状況

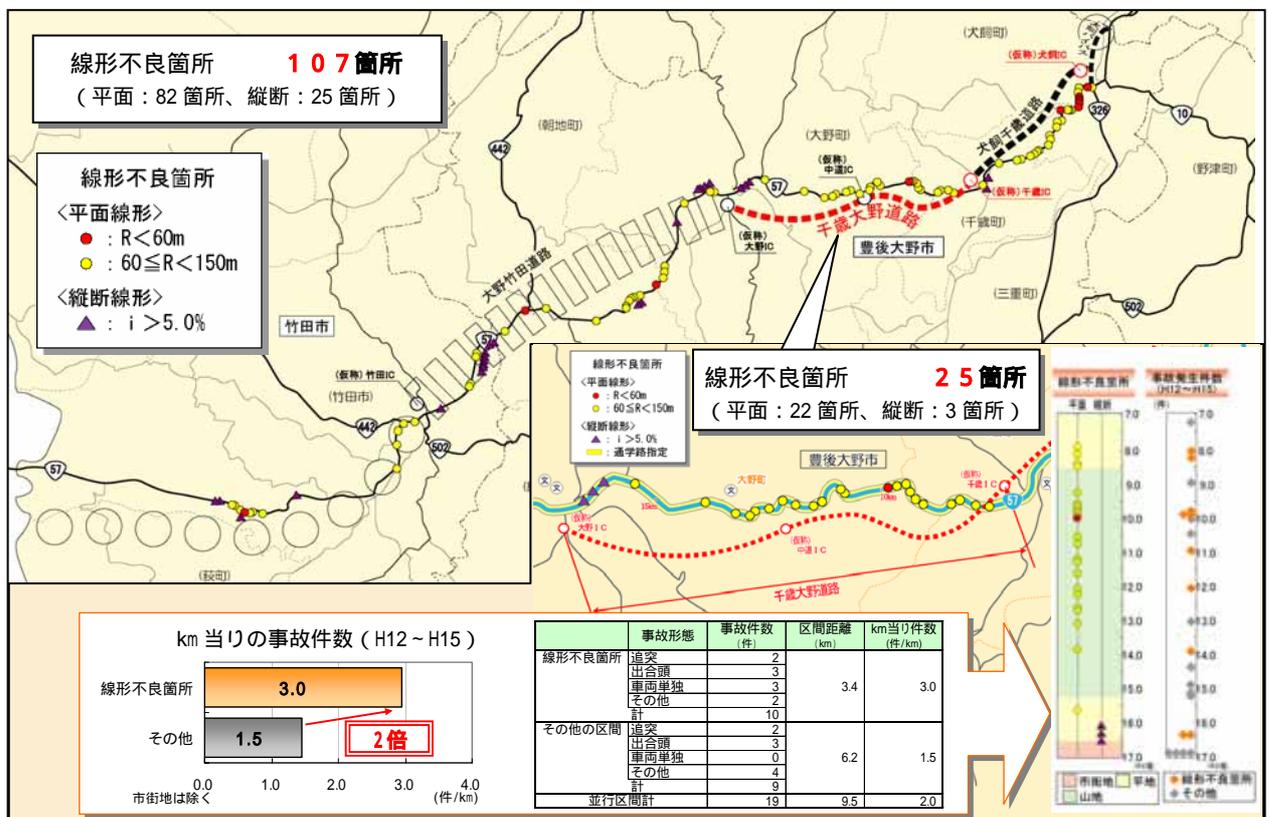


効果 6 : 安全性の向上

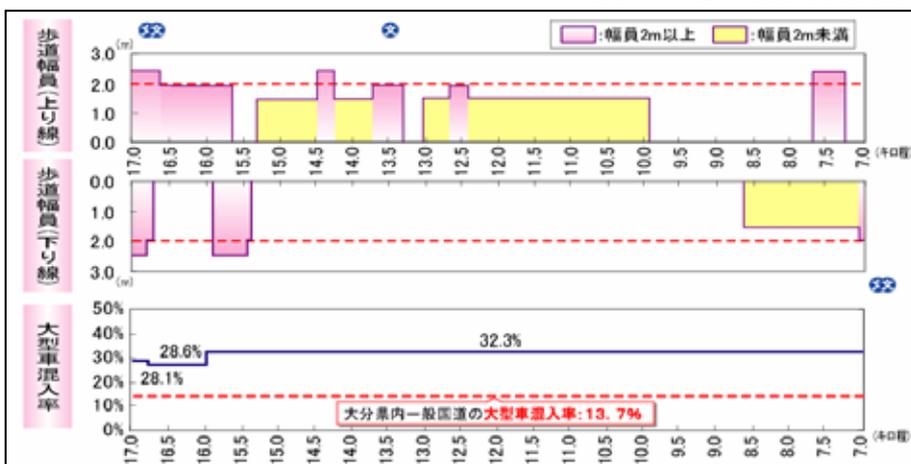
急峻な地形上を通過する国道 57 号には、線形不良箇所が 107 箇所（うち、千歳大野道路並行区間は 25 箇所）あり、大型車交通量も多いことから、走行性・安全性が大きく低下している。（線形不良箇所ではその他の区間の 2 倍の確率で事故が発生）

また、並行区間全てが通学路指定されているのに対して歩道の整備率は 3 割程度と県平均を大きく下回っており、大型車とのすれ違い等により歩行者の安全性も低い状況にある。

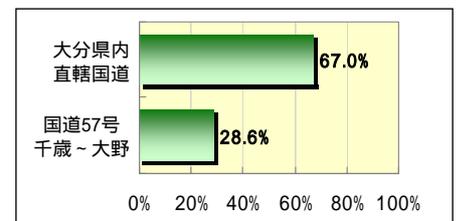
千歳大野道路の整備により、国道 57 号を通行する大型車等の交通量が減少し、現道の交通事故削減、歩行者の安全性向上に大きく寄与する。



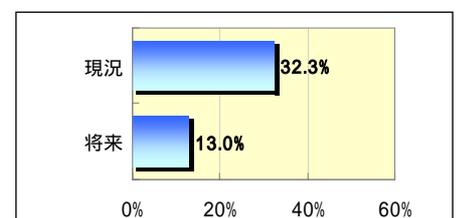
国道 57 号の線形不良箇所



歩道幅員の整備状況と大型車混入率



幅員 2 m 以上の歩道設置率



国道 57 号の大型車混入率

歩道幅員 2m は、道路構造令における最小幅員の値

効果7：活力ある地域づくりの支援

広域交流ネットワークの形成

中九州横断道路が整備されることで、東九州自動車道や九州縦貫自動車道と一体となった高速道路ネットワークが形成されるとともに、大分空港や重要港湾（大分港、別府港等）といった広域交通拠点へのアクセス向上が図られる。

千歳大野道路は中九州横断道路の一部区間を形成し、広域交流ネットワークの形成に寄与するとともに、物流効率化や広域交流を支援する。



広域交流施設の分布



大分港

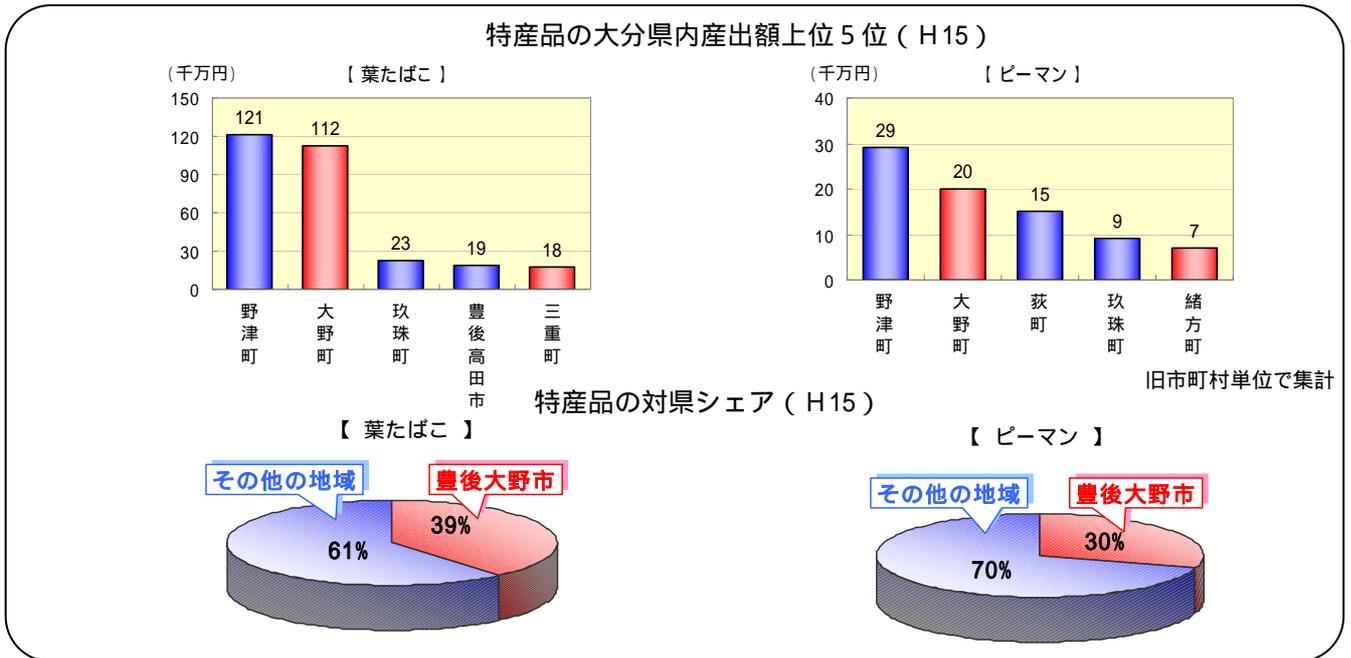


大分空港

地域産業の支援

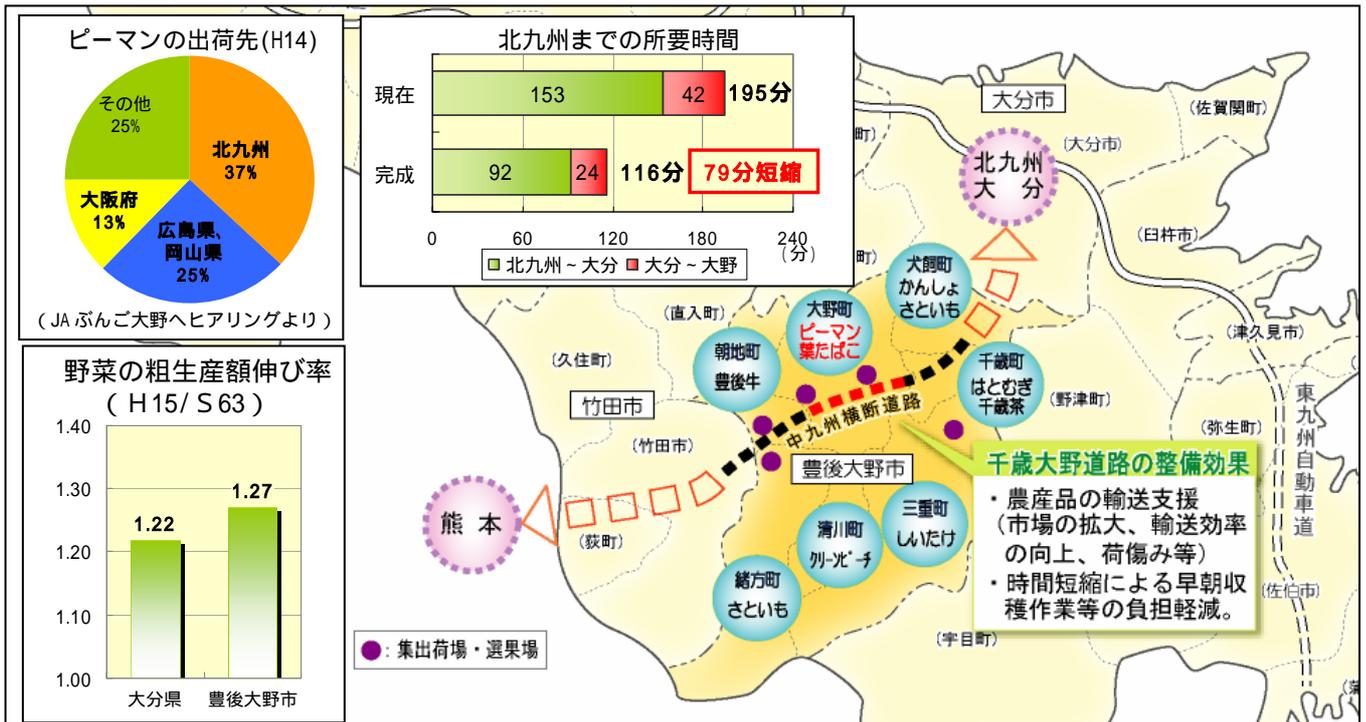
中九州横断道路沿線の豊後大野市は農業が盛んな地域であり、葉たばこの生産額は県全体の約4割を占めている。またピーマンは、県全体の3割を占め、出荷先としては北九州や本州方面がそれぞれ約4割を占めている。

千歳大野道路の整備により、大分市をはじめ、北九州方面などの市場までの時間短縮が図られ、市場の拡大、荷傷みの減少、鮮度の向上等の効果が期待されるなど、地域農業の振興を支援する。



主な農業特産品の産出額とシェア

(資料: 大分県目で見えるアグリランキング 2003)



千歳大野道路の整備効果 (農業)
道路 - 3 - 21

(資料: 大分県農林水産統計年報)

事業の投資効果（費用便益分析）

費用便益分析の結果（一般国道 57 号、千歳大野道路、L = 8.7km）

【残事業 B / C】

（1）事業の目的

中九州横断道路の一部区間を形成し、九州中部地域の活性化、高速定時性の確保等を目的とした自動車専用道路である。

（2）便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成 17 年度			
供 用 年	平成 20 年度（暫定供用）			
初年度便益	25 億円	5 億円	2 億円	32 億円
基準年における 現在価値（B）	589 億円	72 億円	35 億円	696 億円

千歳大野道路の暫定完成予定は平成 20 年で、その後概ね 10 年で全線完成供用すると仮定している。

（3）費用

	事 業 費	維持管理費	合計
基 準 年	平成 17 年度		
単純合計	92 億円	90 億円	181 億円
基準年における 現在価値（C）	77 億円	41 億円	118 億円

（4）評価指標の算定結果

費用便益比（C B R）	B / C = 5.9
--------------	-------------

【全事業B/C】

(1) 事業の目的

中九州横断道路の一部区間を形成し、九州中部地域の活性化、高速定時性の確保等を目的とした自動車専用道路である。

(2) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成17年度			
供 用 年	平成20年度(暫定供用)			
初年度便益	25億円	5億円	2億円	32億円
基準年における 現在価値(B)	589億円	72億円	35億円	696億円

千歳大野道路の暫定完成予定は平成20年で、その後概ね10年で全線完成供用すると仮定している。

(3) 費用

	事 業 費	維持管理費	合計
基 準 年	平成17年度		
単純合計	250億円	90億円	340億円
基準年における 現在価値(C)	250億円	41億円	291億円

(4) 評価指標の算定結果

費用便益比(CBR)	B/C = 2.4
------------	-----------

事業の進捗状況

(1) 事業の経緯

年度	千歳大野道路
H 6	計画路線指定（中九州横断道路）
H 7	整備区間指定
H 8	事業化
H 9	環境影響評価準備書縦覧
H10	環境影響評価完了
H11	用地着手、工事着手



千歳大野道路位置図

(2) 事業進捗状況（執行済額）

	全体事業費	H16年度末進捗	進捗率
全体事業費	250億円	120億円	48%
うち用地補償費	10億円	8億円	80%

3. 事業の進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

平成 16 年度末での事業進捗率は 48% (事業費ベース) で、用地買収も 80% が完了しており、引き続き平成 19 年度供用予定に向けて用地買収及び工事の推進を行う。

本事業の推進にあたっては、地元や関係機関との協力体制も確立しており、円滑な事業執行が可能である。

(2) 地域の協力体制、新聞記事

・期成会

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
豊肥・地域高規格道路建設促進期成会	会長 豊後大野市長 副会長 大分市長 理事 竹田市長 大分市、竹田市、豊後大野市の議会議長 大分市、竹田市、豊後大野市の議会建設常任委員長	・中九州横断道路の早期完成について、国土交通省及び関係機関に要望活動を行っている。 ・要望経緯 本省 : 16 回 地整 : 9 回
中九州・地域高規格道路促進期成会	会長 阿蘇町長 理事 大分市長 野津町長 三重町長 清川村長 緒方町長 大野町長 犬飼町長 久住町長 直入町長 菊地市、大津町等の議会議長 熊本、大分の県議会議員 他 (平成 16 年度末現在)	・中九州横断道路の早期完成について、国土交通省及び関係機関に要望活動を行っている。 ・要望経緯 本省 : 18 回 地整 : 7 回

・協力体制

名 称	協 力 内 容
豊後大野市建設管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・地元説明会等の住民との連絡調整 ・地元対応及び地域情報窓口 ・地元要望との受付窓口 ・役場内部等への調整窓口

・地域の状況

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会	会長 堀 幸子 会員数 約 80 名	・要望経緯 本省 : 6 回 地整 : 10 回
おおの女性の会	会長 角田 朝子 会員数 約 50 名	

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性

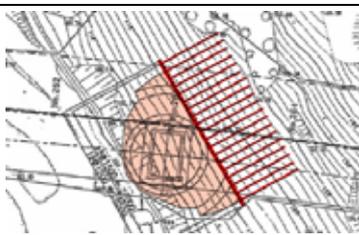
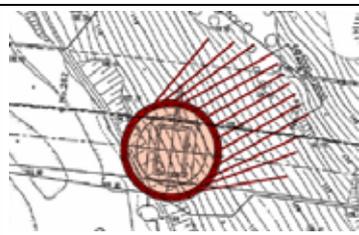
(1) コスト縮減の対応

事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。

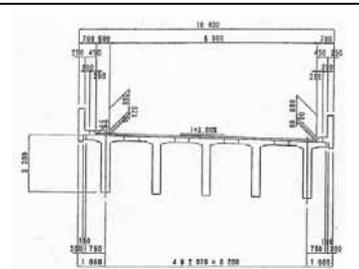
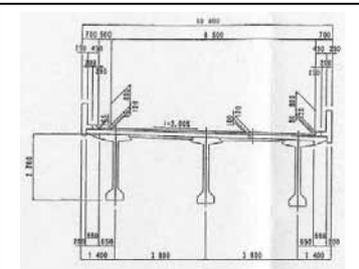
(具体的な取組状況)

竹割り型構造物掘削工法（茜川橋）、プレキャストセグメント工法（岡高架橋）、PC 合成桁の適用（穴井橋）、プレグラウト PC 鋼材（茜川橋、前田高架橋）、インターロッキング橋脚等の新技術の活用による PC 橋コスト縮減

【竹割り型構造物掘削工法（茜川橋 P2 橋脚 1 基）】

当初計画(親杭横矢板工法+グランドアンカー)	コスト縮減(竹割り型構造物掘削工法)
 <p>一定間隔で打ち込みしたH鋼杭の間に、横矢板を差し込み土砂の崩壊を防ぐ工法</p>	 <p>リングビームとグランドアンカーを先行施工し、吹付コンクリートと鉄筋挿入を行いながら掘削する工法</p>
工事費： 113 百万円	工事費： 57 百万円
縮減額： 57 百万円	

【PC 合成桁（PC 板タイプ）の適用（PC コンボ橋）（穴井橋）】

当初計画(標準T桁)	コスト縮減(PC 合成桁)
 <p>床版が現場施工であるため、桁間隔が狭くなり桁本数が増加する。そのため上部工重量が増加し、下部工への負担が大きくなる</p>	 <p>PC 合成桁を採用することで、高所作業が不要になり安全かつ短期間での施工が可能となり、また桁の合成が高くなるため桁本数を削減できる</p>
工事費： 426 百万円	工事費： 410 百万円
縮減額： 16 百万円	

(施策別コスト縮減額)

(単位:百万円)

コスト縮減施策	コスト縮減額 (コスト縮減率 ^{注2})
建設発生土の有効利用	1,409 (5.6%)
耐候性鋼材の併用	128 (0.5%)
竹割り型構造物掘削工法	57 (0.2%)
PC 合成桁(PC 板タイプ)の適用(PC コンボ橋)	16 (0.1%)
その他	15 (0.1%)
コスト縮減額計	1,625 (6.5%)

注1:千歳大野道路の残事業の改良工事分は、現在検討中であるため含めていない。

注2:全体事業費 250 億円に対する縮減割合。

(2) 代替案の可能性

千歳大野道路は、当該地域の地形条件、周辺地域からの利便性、地域開発計画等周辺土地利用との整合ならびに環境への影響など、総合的に勘察し計画したものであり、現在全線にわたって用地買収(全体の80%が完了)を行っていることなどから、現計画で早期供用に向けて事業を推進することが最適と考えられる。

5. 対応方針(原案)

(事業継続)

一般国道57号中九州横断道路の千歳大野道路については、事業を継続する。

千歳大野道路は、中九州横断道路の一区間を形成し、地域間の連携・交流や観光振興等に資する広域的なネットワーク機能を有する事業である。

また、周辺地域においても交通の防災安全性や生活利便性向上等の効果を期待されているところであり、豊後大野市をはじめとする周辺の自治体などから積極的な整備促進の要望がなされているところである。

こうした状況に併せ、また本事業は既に相当程度の進捗をみていることから、早期に効果を発揮すべく、平成19年度の供用(暫定2車線)に向け、引き続き事業を推進する。

さらに、4車線化完成事業については暫定後の交通状況を勘察しながら実施時期を検討する。

卷 末 資 料

(客 觀 的 評 價 指 標)

客観的評価指標（2 / 3）

- ※ データ上の制約がない限り、基本的に全ての項目について評価を実施するものとする。
ただし、評価に必要な作業量が大きく、当該事業による効果は少ないことが予想される場合、
評価実施主体が当該事業について評価対象外とすべきと判断した項目については、評価を
実施しなくてもよいものとする。
- ※ 網掛けの指標は定量的な記述により効果の確認を行うことを基本とする。
- ※ その他の指標は定性的に効果の有無を確認する。
- ※ 本指標に基づき効果を総合的に評価する必要がある。その手法については今後策定する。

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路
	事業の効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 便益が費用を上回っている ・ B/C=2.4 			
	事業実施環境 (新規事業採択時)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ルート確定済 ■ 円滑な事業執行の環境が整っている 			<ul style="list-style-type: none"> □ 都市計画決定済
	事業実施環境 (新規着工準備採択時)	<ul style="list-style-type: none"> □ 都市計画手続等、環境影響評価の手続等の着手に必要な調査が完了している 			
	事業の性格	<ul style="list-style-type: none"> □ 以下のいずれかに該当する <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の直轄事業に関連する事業 ・ 国家的な事業に関連する事業 ・ 先導的な施策に係る事業 ・ 短期間に集中的に施行する必要がある事業 □ 市町村道事業については、ネットワーク関連や市町村合併など特別な観点で行う事業である 			

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路		
大項目	中項目						
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞損失時間： 0万人・時間/年（国道57号 千歳～大野） ・ 渋滞損失削減率： 10 割削減（国道57号 千歳～大野） □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ・ 大分空港へのアクセス向上が見込まれる（豊後大野市大野町から大分空港 100分→82分） 					
		物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる ・ 国際コンテナ航路を有する大分港へのアクセス向上が見込まれる（豊後大野市大野町から大分港 65分→47分） ■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる ・ 大野地域は、農業を主体とした地域で、特に葉たばこ、ピーマン等は地域の主力農産品となっており、これら農産品の輸送において高速輸送サービスが可能となる □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 				
			都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> □ 都市再生プロジェクトを支援する事業である □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり □ 中心市街地内で行う事業である 			
						<ul style="list-style-type: none"> □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり □ 中心市街地内で行う事業である 	
				<ul style="list-style-type: none"> □ 中心市街地内で行う事業である 			

政策目標		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路	
大項目	中項目					
1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけあり				
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり ・中九州横断道路の一部区間として、平成7年に整備計画区間に指定されている				
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線)としての位置づけがある場合に限り				
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する ・生活中心都市である大分市、竹田市を連絡するルートである(大分市から竹田市 77分→51分)				
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する				
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する				
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる ・豊後大野市大野町等から大分市へのアクセスが向上する(豊後大野市大野町から大分市 60分→43分)				
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する					
	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する ・地域の特性を生かした地域開発構想である大野川流域リバーポリスを支援する					
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される ・阿蘇、別府などの主要観光地をネットワークする					
				<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である		
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である					
				<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる				
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される				
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り				
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する				
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる ・第三次救急医療施設であるアルメイダ病院(大分市)へのアクセス向上が見込まれる(豊後大野市大野町からアルメイダ病院 46分→32分)	<input type="checkbox"/> 二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる			

政策目標		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路
大項目	中項目				
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる			
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される			
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する			
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input type="checkbox"/> 国道57号はH8年大分県緊急輸送道路ネットワーク計画（一次ネットワーク）の位置付けあり			
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 代替する緊急輸送道路路線名：国道57号（一次ネットワーク）、代替する区間：豊後大野市千歳町～大野町			
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）			
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 国道57号には防災点検対策箇所が36箇所あり、千歳大野道路の整備により信頼性の高い道路ネットワークが確保される			
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する			
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する			
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす					
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <input type="checkbox"/> 2.871t-CO2/年を排出抑制			
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率			
		<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率			
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある			
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される			
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている			
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり			
	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている				
その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される				

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般国道57号	千歳大野道路	L = 8.7 Km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,500 ~ 20,800	4	九州地方整備局

費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成17年度		
単純合計	250億円	90億円	340億円
うち残事業分	92億円	90億円	181億円
基準年における 現在価値(C)	250億円	41億円	291億円
うち残事業分	77億円	41億円	118億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成17年度			
供用年	平成30年度			
単年便益 (初年便益)	25億円	5億円	2億円	32億円
基準年における 現在価値(B)	589億円	72億円	35億円	696億円
うち残事業分	589億円	72億円	35億円	696億円

結果

費用便益比(事業全体)	2.4
費用便益比(残事業)	5.9

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額除く)

箇所名: 一般国道57号 千歳大野道路(全事業)

採用単価の根拠 高速道路		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	8.7	2.35

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
- 12年目	H 8	1.4233	0.50	0.71	0.00	0.00
- 11年目	H 9	1.3686	1.70	2.33	0.00	0.00
- 10年目	H 10	1.3159	1.50	1.97	0.00	0.00
- 9年目	H 11	1.2653	11.58	14.65	0.00	0.00
- 8年目	H 12	1.2167	6.41	7.80	0.00	0.00
- 7年目	H 13	1.1699	13.90	16.26	0.00	0.00
- 6年目	H 14	1.1249	30.71	34.55	0.00	0.00
- 5年目	H 15	1.0816	19.19	20.76	0.00	0.00
- 4年目	H 16	1.0400	34.57	35.95	0.00	0.00
- 3年目	H 17	1.0000	38.20	38.20	0.00	0.00
- 2年目	H 18	0.9615	44.03	42.33	0.00	0.00
- 1年目	H 19	0.9246	19.11	17.67	0.00	0.00
暫定供用開始年次	H 20	0.8890	0.00	0.00	2.24	1.99
1年目	H 21	0.8548	0.00	0.00	2.24	1.91
2年目	H 22	0.8219	0.00	0.00	2.24	1.84
3年目	H 23	0.7903	0.00	0.00	2.24	1.77
4年目	H 24	0.7599	0.00	0.00	2.24	1.70
5年目	H 25	0.7307	0.00	0.00	2.24	1.64
6年目	H 26	0.7026	7.15	5.02	2.24	1.57
7年目	H 27	0.6756	7.15	4.83	2.24	1.51
8年目	H 28	0.6496	7.15	4.64	2.24	1.46
9年目	H 29	0.6246	7.15	4.47	2.24	1.40
完成供用開始年次	H 30	0.6006	0.00	0.00	2.24	1.35
11年目	H 31	0.5775	0.00	0.00	2.24	1.29
12年目	H 32	0.5553	0.00	0.00	2.24	1.24
13年目	H 33	0.5339	0.00	0.00	2.24	1.20
14年目	H 34	0.5134	0.00	0.00	2.24	1.15
15年目	H 35	0.4936	0.00	0.00	2.24	1.11
16年目	H 36	0.4746	0.00	0.00	2.24	1.06
17年目	H 37	0.4564	0.00	0.00	2.24	1.02
18年目	H 38	0.4388	0.00	0.00	2.24	0.98
19年目	H 39	0.4220	0.00	0.00	2.24	0.95
20年目	H 40	0.4057	0.00	0.00	2.24	0.91
21年目	H 41	0.3901	0.00	0.00	2.24	0.87
22年目	H 42	0.3751	0.00	0.00	2.24	0.84
23年目	H 43	0.3607	0.00	0.00	2.24	0.81
24年目	H 44	0.3468	0.00	0.00	2.24	0.78
25年目	H 45	0.3335	0.00	0.00	2.24	0.75
26年目	H 46	0.3207	0.00	0.00	2.24	0.72
27年目	H 47	0.3083	0.00	0.00	2.24	0.69
28年目	H 48	0.2965	0.00	0.00	2.24	0.66
29年目	H 49	0.2851	0.00	0.00	2.24	0.64
30年目	H 50	0.2741	0.00	0.00	2.24	0.61
31年目	H 51	0.2636	0.00	0.00	2.24	0.59
32年目	H 52	0.2534	0.00	0.00	2.24	0.57
33年目	H 53	0.2437	0.00	0.00	2.24	0.55
34年目	H 54	0.2343	0.00	0.00	2.24	0.52
35年目	H 55	0.2253	0.00	0.00	2.24	0.50
36年目	H 56	0.2166	0.00	0.00	2.24	0.49
37年目	H 57	0.2083	0.00	0.00	2.24	0.47
38年目	H 58	0.2003	0.00	0.00	2.24	0.45
39年目	H 59	0.1926	-10.42	-2.01	2.24	0.43
合計			239.58	250.13	89.60	40.99
単純事業費計			250.00		89.60	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道57号 千歳大野道路(全事業)

年次	年度 (基準年) H17	総走行台数の年次別伸び率 (北九州7ローカ)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	H 20	1.01196	0.99816	1.00787	0.8890	12.02	1.65	3.57	8.23	25.47	22.64	1.39	0.10	1.00	2.01	4.50	4.00	1.83	1.63	31.80	28.27
1年目	H 21	1.01182	0.99816	1.00781	0.8548	12.16	1.67	3.56	8.21	25.60	21.88	1.41	0.10	1.00	2.01	4.52	3.86	1.84	1.57	31.96	27.31
2年目	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8219	12.31	1.69	3.56	8.20	25.76	21.17	1.42	0.10	1.00	2.00	4.52	3.71	1.86	1.53	32.14	26.41
3年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.7903	12.40	1.70	3.55	8.19	25.84	20.42	1.43	0.10	0.99	2.00	4.52	3.57	1.87	1.48	32.23	25.47
4年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7599	12.50	1.72	3.55	8.18	25.95	19.72	1.45	0.10	0.99	2.00	4.54	3.45	1.88	1.43	32.37	24.60
5年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7307	12.60	1.73	3.54	8.17	26.04	19.03	1.46	0.10	0.99	1.99	4.54	3.32	1.89	1.38	32.47	23.73
6年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7026	12.69	1.74	3.54	8.16	26.13	18.36	1.47	0.11	0.99	1.99	4.56	3.20	1.90	1.33	32.59	22.89
7年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.6756	12.79	1.76	3.53	8.14	26.22	17.71	1.48	0.11	0.99	1.99	4.57	3.09	1.91	1.29	32.70	22.09
8年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6496	12.88	1.77	3.53	8.13	26.31	17.09	1.49	0.11	0.99	1.99	4.58	2.98	1.92	1.25	32.81	21.32
9年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6246	12.98	1.78	3.52	8.12	26.40	16.49	1.50	0.11	0.99	1.98	4.58	2.86	1.93	1.21	32.91	20.56
完成供用開始年次	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6006	18.69	2.53	5.10	10.65	36.97	22.20	1.28	0.08	0.84	1.37	3.57	2.14	1.92	1.15	42.46	25.49
11年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.5775	18.83	2.55	5.09	10.64	37.11	21.43	1.29	0.08	0.84	1.37	3.58	2.07	1.93	1.11	42.62	24.61
12年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5553	18.96	2.57	5.09	10.62	37.24	20.68	1.30	0.08	0.84	1.37	3.59	1.99	1.94	1.08	42.77	23.75
13年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5339	18.99	2.57	5.07	10.58	37.21	19.87	1.30	0.08	0.83	1.36	3.57	1.91	1.94	1.04	42.72	22.82
14年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5134	19.02	2.58	5.04	10.54	37.18	19.09	1.30	0.08	0.83	1.36	3.57	1.83	1.94	1.00	42.69	21.92
15年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.4936	19.05	2.58	5.02	10.49	37.14	18.33	1.30	0.08	0.83	1.35	3.56	1.76	1.94	0.96	42.64	21.05
16年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4746	19.08	2.58	5.00	10.45	37.11	17.61	1.31	0.08	0.82	1.34	3.55	1.68	1.94	0.92	42.60	20.21
17年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4564	19.11	2.59	4.98	10.41	37.09	16.93	1.31	0.08	0.82	1.34	3.55	1.62	1.94	0.89	42.58	19.44
18年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4388	19.14	2.59	4.96	10.36	37.05	16.26	1.31	0.08	0.82	1.33	3.54	1.55	1.94	0.85	42.53	18.66
19年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4220	19.17	2.60	4.94	10.32	37.03	15.63	1.31	0.08	0.81	1.33	3.53	1.49	1.94	0.82	42.50	17.94
20年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4057	19.20	2.60	4.92	10.28	37.00	15.01	1.32	0.08	0.81	1.32	3.53	1.43	1.94	0.79	42.47	17.23
21年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.3901	19.23	2.60	4.90	10.23	36.96	14.42	1.32	0.08	0.81	1.32	3.53	1.38	1.94	0.76	42.43	16.56
22年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3751	19.26	2.61	4.88	10.19	36.94	13.86	1.32	0.08	0.80	1.31	3.51	1.32	1.94	0.73	42.39	15.91
23年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3607	19.20	2.60	4.85	10.14	36.79	13.27	1.32	0.08	0.80	1.30	3.50	1.26	1.93	0.70	42.22	15.23
24年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3468	19.14	2.59	4.83	10.08	36.64	12.71	1.31	0.08	0.80	1.30	3.49	1.21	1.93	0.67	42.06	14.59
25年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3335	19.08	2.58	4.80	10.03	36.49	12.17	1.31	0.08	0.79	1.29	3.47	1.16	1.92	0.64	41.88	13.97
26年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3207	19.02	2.58	4.78	9.98	36.36	11.66	1.30	0.08	0.79	1.28	3.45	1.11	1.91	0.61	41.72	13.38
27年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3083	18.96	2.57	4.75	9.92	36.20	11.16	1.30	0.08	0.78	1.28	3.44	1.06	1.90	0.59	41.54	12.81
28年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.2965	18.90	2.56	4.73	9.87	36.06	10.69	1.29	0.08	0.78	1.27	3.42	1.01	1.90	0.56	41.38	12.26
29年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2851	18.84	2.55	4.70	9.81	35.90	10.24	1.29	0.08	0.77	1.26	3.40	0.97	1.89	0.54	41.19	11.75
30年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2741	18.78	2.54	4.67	9.76	35.75	9.80	1.29	0.08	0.77	1.26	3.40	0.93	1.88	0.52	41.03	11.25
31年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2636	18.72	2.53	4.65	9.71	35.61	9.39	1.28	0.08	0.77	1.25	3.38	0.89	1.88	0.50	40.87	10.78
32年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2534	18.67	2.53	4.62	9.65	35.47	8.99	1.28	0.08	0.76	1.24	3.36	0.85	1.87	0.47	40.70	10.31
33年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2437	18.60	2.52	4.61	9.62	35.35	8.61	1.27	0.08	0.76	1.24	3.35	0.82	1.86	0.45	40.56	9.88
34年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2343	18.53	2.51	4.59	9.59	35.22	8.25	1.27	0.08	0.76	1.23	3.34	0.78	1.86	0.44	40.42	9.47
35年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2253	18.46	2.50	4.58	9.57	35.11	7.91	1.26	0.08	0.75	1.23	3.32	0.75	1.85	0.42	40.28	9.08
36年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2166	18.39	2.49	4.57	9.54	34.99	7.58	1.26	0.08	0.75	1.23	3.32	0.72	1.84	0.40	40.15	8.70
37年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2083	18.32	2.48	4.55	9.51	34.86	7.26	1.25	0.08	0.75	1.22	3.30	0.69	1.84	0.38	40.00	8.33
38年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2003	18.25	2.47	4.54	9.48	34.74	6.96	1.25	0.08	0.75	1.22	3.30	0.66	1.83	0.37	39.87	7.99
39年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.1926	18.19	2.46	4.52	9.45	34.62	6.67	1.25	0.08	0.75	1.22	3.30	0.64	1.82	0.35	39.74	7.66
合計						691.11	93.82	179.78	383.20	1,347.91	589.15	53.25	3.44	33.71	58.75	149.15	71.72	75.93	34.81	1,572.99	695.68

様式記入上の留意点

1. 再評価の場合、事業全体分、残事業分それぞれ作成する。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額除く)

採用単価の根拠 高速道路

箇所名: 一般国道57号 千歳大野道路(残事業分)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	8.7	2.35

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 12年目	H 8	1.4233	0.00	0.00	0.00	0.00
- 11年目	H 9	1.3686	0.00	0.00	0.00	0.00
- 10年目	H 10	1.3159	0.00	0.00	0.00	0.00
- 9年目	H 11	1.2653	0.00	0.00	0.00	0.00
- 8年目	H 12	1.2167	0.00	0.00	0.00	0.00
- 7年目	H 13	1.1699	0.00	0.00	0.00	0.00
- 6年目	H 14	1.1249	0.00	0.00	0.00	0.00
- 5年目	H 15	1.0816	0.00	0.00	0.00	0.00
- 4年目	H 16	1.0400	0.00	0.00	0.00	0.00
- 3年目	H 17	1.0000	0.00	0.00	0.00	0.00
- 2年目	H 18	0.9615	44.03	42.33	0.00	0.00
- 1年目	H 19	0.9246	19.11	17.67	0.00	0.00
暫定供用開始年次	H 20	0.8890	0.00	0.00	2.24	1.99
1年目	H 21	0.8548	0.00	0.00	2.24	1.91
2年目	H 22	0.8219	0.00	0.00	2.24	1.84
3年目	H 23	0.7903	0.00	0.00	2.24	1.77
4年目	H 24	0.7599	0.00	0.00	2.24	1.70
5年目	H 25	0.7307	0.00	0.00	2.24	1.64
6年目	H 26	0.7026	7.15	5.02	2.24	1.57
7年目	H 27	0.6756	7.15	4.83	2.24	1.51
8年目	H 28	0.6496	7.15	4.64	2.24	1.46
9年目	H 29	0.6246	7.15	4.47	2.24	1.40
完成供用開始年次	H 30	0.6006	0.00	0.00	2.24	1.35
11年目	H 31	0.5775	0.00	0.00	2.24	1.29
12年目	H 32	0.5553	0.00	0.00	2.24	1.24
13年目	H 33	0.5339	0.00	0.00	2.24	1.20
14年目	H 34	0.5134	0.00	0.00	2.24	1.15
15年目	H 35	0.4936	0.00	0.00	2.24	1.11
16年目	H 36	0.4746	0.00	0.00	2.24	1.06
17年目	H 37	0.4564	0.00	0.00	2.24	1.02
18年目	H 38	0.4388	0.00	0.00	2.24	0.98
19年目	H 39	0.4220	0.00	0.00	2.24	0.95
20年目	H 40	0.4057	0.00	0.00	2.24	0.91
21年目	H 41	0.3901	0.00	0.00	2.24	0.87
22年目	H 42	0.3751	0.00	0.00	2.24	0.84
23年目	H 43	0.3607	0.00	0.00	2.24	0.81
24年目	H 44	0.3468	0.00	0.00	2.24	0.78
25年目	H 45	0.3335	0.00	0.00	2.24	0.75
26年目	H 46	0.3207	0.00	0.00	2.24	0.72
27年目	H 47	0.3083	0.00	0.00	2.24	0.69
28年目	H 48	0.2965	0.00	0.00	2.24	0.66
29年目	H 49	0.2851	0.00	0.00	2.24	0.64
30年目	H 50	0.2741	0.00	0.00	2.24	0.61
31年目	H 51	0.2636	0.00	0.00	2.24	0.59
32年目	H 52	0.2534	0.00	0.00	2.24	0.57
33年目	H 53	0.2437	0.00	0.00	2.24	0.55
34年目	H 54	0.2343	0.00	0.00	2.24	0.52
35年目	H 55	0.2253	0.00	0.00	2.24	0.50
36年目	H 56	0.2166	0.00	0.00	2.24	0.49
37年目	H 57	0.2083	0.00	0.00	2.24	0.47
38年目	H 58	0.2003	0.00	0.00	2.24	0.45
39年目	H 59	0.1926	-10.42	-2.01	2.24	0.43
合計			81.32	76.95	89.60	40.99
単純事業費計			91.74		89.60	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道57号 千歳大野道路(残事業分)

年次	年度 (基準年) H17	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州7ロード)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	H 20	1.01196	0.99816	1.00787	0.8890	12.02	1.65	3.57	8.23	25.47	22.84	1.39	0.10	1.00	2.01	4.50	4.00	1.83	1.63	31.80	28.27
1年目	H 21	1.01182	0.99816	1.00781	0.8548	12.16	1.67	3.56	8.21	25.60	21.88	1.41	0.10	1.00	2.01	4.52	3.86	1.84	1.57	31.96	27.31
2年目	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8219	12.31	1.69	3.56	8.20	25.76	21.17	1.42	0.10	1.00	2.00	4.52	3.71	1.86	1.53	32.14	26.41
3年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.7903	12.40	1.70	3.55	8.19	25.84	20.42	1.43	0.10	0.99	2.00	4.52	3.57	1.87	1.48	32.23	25.47
4年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7599	12.50	1.72	3.55	8.18	25.95	19.72	1.45	0.10	0.99	2.00	4.54	3.45	1.88	1.43	32.37	24.60
5年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7307	12.60	1.73	3.54	8.17	26.04	19.03	1.46	0.10	0.99	1.99	4.54	3.32	1.89	1.38	32.47	23.73
6年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7026	12.69	1.74	3.54	8.16	26.13	18.36	1.47	0.11	0.99	1.99	4.56	3.20	1.90	1.33	32.59	22.89
7年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.6756	12.79	1.76	3.53	8.14	26.22	17.71	1.48	0.11	0.99	1.99	4.57	3.09	1.91	1.29	32.70	22.09
8年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6496	12.88	1.77	3.53	8.13	26.31	17.09	1.49	0.11	0.99	1.99	4.58	2.98	1.92	1.25	32.81	21.32
9年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6246	12.98	1.78	3.52	8.12	26.40	16.49	1.50	0.11	0.99	1.98	4.58	2.86	1.93	1.21	32.91	20.56
完成供用開始年次	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6006	18.69	2.53	5.10	10.65	36.97	22.20	1.28	0.08	0.84	1.37	3.57	2.14	1.92	1.15	42.46	25.49
11年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.5775	18.83	2.55	5.09	10.64	37.11	21.43	1.29	0.08	0.84	1.37	3.58	2.07	1.93	1.11	42.62	24.61
12年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5553	18.96	2.57	5.09	10.62	37.24	20.68	1.30	0.08	0.84	1.37	3.59	1.99	1.94	1.08	42.77	23.75
13年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5339	18.99	2.57	5.07	10.58	37.21	19.87	1.30	0.08	0.83	1.36	3.57	1.91	1.94	1.04	42.72	22.82
14年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5134	19.02	2.58	5.04	10.54	37.18	19.09	1.30	0.08	0.83	1.36	3.57	1.83	1.94	1.00	42.69	21.92
15年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.4936	19.05	2.58	5.02	10.49	37.14	18.33	1.30	0.08	0.83	1.35	3.56	1.76	1.94	0.96	42.64	21.05
16年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4748	19.08	2.58	5.00	10.45	37.11	17.61	1.31	0.08	0.82	1.34	3.55	1.68	1.94	0.92	42.60	20.21
17年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4564	19.11	2.59	4.98	10.41	37.09	16.93	1.31	0.08	0.82	1.34	3.55	1.62	1.94	0.89	42.58	19.44
18年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4388	19.14	2.59	4.96	10.36	37.05	16.26	1.31	0.08	0.82	1.33	3.54	1.55	1.94	0.85	42.53	18.66
19年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4220	19.17	2.60	4.94	10.32	37.03	15.63	1.31	0.08	0.81	1.33	3.53	1.49	1.94	0.82	42.50	17.94
20年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4057	19.20	2.60	4.92	10.28	37.00	15.01	1.32	0.08	0.81	1.32	3.53	1.43	1.94	0.79	42.47	17.23
21年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.3901	19.23	2.60	4.90	10.23	36.96	14.42	1.32	0.08	0.81	1.32	3.53	1.38	1.94	0.76	42.43	16.56
22年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3751	19.26	2.61	4.88	10.19	36.94	13.86	1.32	0.08	0.80	1.31	3.51	1.32	1.94	0.73	42.39	15.91
23年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3607	19.20	2.60	4.85	10.14	36.79	13.27	1.32	0.08	0.80	1.30	3.50	1.26	1.93	0.70	42.22	15.23
24年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3468	19.14	2.59	4.83	10.08	36.64	12.71	1.31	0.08	0.80	1.30	3.49	1.21	1.93	0.67	42.06	14.59
25年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3335	19.08	2.58	4.80	10.03	36.49	12.17	1.31	0.08	0.79	1.29	3.47	1.16	1.92	0.64	41.88	13.97
26年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3207	19.02	2.58	4.78	9.98	36.36	11.66	1.30	0.08	0.79	1.28	3.45	1.11	1.91	0.61	41.72	13.38
27年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3083	18.96	2.57	4.75	9.92	36.20	11.16	1.30	0.08	0.78	1.28	3.44	1.06	1.90	0.59	41.54	12.81
28年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.2965	18.90	2.56	4.73	9.87	36.06	10.69	1.29	0.08	0.78	1.27	3.42	1.01	1.90	0.56	41.38	12.26
29年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2851	18.84	2.55	4.70	9.81	35.90	10.24	1.29	0.08	0.77	1.26	3.40	0.97	1.89	0.54	41.19	11.75
30年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2741	18.78	2.54	4.67	9.76	35.75	9.80	1.29	0.08	0.77	1.26	3.40	0.93	1.88	0.52	41.03	11.25
31年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2636	18.72	2.53	4.65	9.71	35.61	9.39	1.28	0.08	0.77	1.25	3.38	0.89	1.88	0.50	40.87	10.78
32年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2534	18.67	2.53	4.62	9.65	35.47	8.99	1.28	0.08	0.76	1.24	3.36	0.85	1.87	0.47	40.70	10.31
33年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2437	18.60	2.52	4.61	9.62	35.35	8.61	1.27	0.08	0.76	1.24	3.35	0.82	1.86	0.45	40.56	9.88
34年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2343	18.53	2.51	4.59	9.59	35.22	8.25	1.27	0.08	0.76	1.23	3.34	0.78	1.86	0.44	40.42	9.47
35年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2253	18.46	2.50	4.58	9.57	35.11	7.91	1.26	0.08	0.75	1.23	3.32	0.75	1.85	0.42	40.28	9.08
36年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2166	18.39	2.49	4.57	9.54	34.99	7.58	1.26	0.08	0.75	1.23	3.32	0.72	1.84	0.40	40.15	8.70
37年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2083	18.32	2.48	4.55	9.51	34.86	7.26	1.25	0.08	0.75	1.22	3.30	0.69	1.84	0.38	40.00	8.33
38年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2003	18.25	2.47	4.54	9.48	34.74	6.96	1.25	0.08	0.75	1.22	3.30	0.66	1.83	0.37	39.87	7.99
39年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.1926	18.19	2.46	4.52	9.45	34.62	6.67	1.25	0.08	0.75	1.22	3.30	0.64	1.82	0.35	39.74	7.66
合計						691.11	93.82	179.78	383.20	1,347.91	589.15	53.25	3.44	33.71	58.75	149.15	71.72	75.93	34.81	1,572.99	695.68

様式記入上の留意点

1. 再評価の場合、事業全体分、残事業分それぞれ作成する。